

事業計画書

政府の平成23年度経済見通しは、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、予算、税制等による新成長戦略の本格実施等を通じて雇用・所得環境の改善が民間需要に波及することが徐々に強まることから、景気は持ち直し経済成長の好循環に向けた動きが進むと見込まれている。民間最終消費支出は前年度比0.6%程度増、民間企業設備投資は4.2%程度増、完全失業率は4.7%程度、鉱工業生産は2.5%程度増、企業物価は0.4%程度上昇、消費者物価は0.00%程度と見込まれている。

この結果、平成23年度の我が国経済における国内総生産の実質経済成長率は1.5%程度（名目成長率1.0%程度）、実質経済成長率に対する外需の寄与度は0.5%程度、国際収支は貿易収支黒字・経常収支黒字共に増加（経常収支対名目GDP比3.6%程度）するものとの見通しが示されている。

また、一般社団法人日本自動車工業会の平成23年四輪自動車国内需要見通しは、エコカー減税は継続するものの景気に対する不透明感と補助金終了に伴う反動減から4,465千台（前年比90.1%）、二輪自動車国内需要見通しは、原付第二種の需要が堅調に推移するものの原付第一種・軽二輪車・小型二輪車の需要が前年を若干下回るため409千台（前年比97.6%）を見込んでいる。

当業界にあっては、このように自動車の国内需要が低調に推移すること、他の製品の国内需要の増加が大きく望めないこと、円高傾向が続くこと等から、ダイカストの年間生産量は先行き不透明に推移するものと見込まれる。

加えて3月に発生した東北地方太平洋沖地震の影響もより一層の不透明感を強めている。

このような背景のなかで当協会の平成23年度事業は、4ダイカスト工業協同組合との「事業統合」を更に発展させることを目指した具体的活動を継続し、「ダイカスト産業ビジョン（追補版）」に基づく初年度協会事業を推進する。

また、平成20年12月に施行された公益法人制度改革新法に基づく「一般社団法人」への移行を臨時総会において決定し認可申請を行うとともに、国際的な競争法執行強化を踏まえた事業者団体活動のコンプライアンス体制を検討し策定する。

さらに、外部情報の会員への発信、会員相互間の交流促進、各委員会事業の実施、各種統計の整備、研究開発、亜鉛合金ダイカスト品質証明制度、表彰制度などを継続して実施し、また、関係官庁・関係団体に対する協力などを継続して実施する。

1. 企画運営委員会
 - (1)平成23年度委員会事業報告・決算(見込)の検討
 - (2)平成24年度委員会事業計画・予算(案)の審議
 - (3)平成24年度協会事業計画・収支予算(案)の審議
 - 1-1 ダイカスト産業ビジョン推進部会
 - (1)「ダイカスト産業ビジョン」(追補版)の発行
 - (2)「ダイカスト産業ビジョン」(追補版)の普及・啓発
 - 1-2 会費改正・支部費検討部会
 - (1)賛助会員新会費規程の検討
2. 経営委員会
 - (1)2011年度受注動向調査の審議
 - (2)経営アンケートの集計・配付
 - (3)経営講演会の企画・実施
 - 2-1 需要予測部会
 - (1)2011年度受注動向調査の集計結果の検討
 - (2)2012年度受注動向調査のアンケート内容の検討
 - 2-2 取引編部会
 - (1)「ダイカスト産業取引ガイドライン」の発行
 - (2)「ダイカスト産業取引ガイドライン」の普及・啓発
 - (3)取引条件の改善状況アンケート調査と分析
3. 中小企業委員会
 - (1)各支部中小企業施策及び協会事業の周知・啓発
 - (2)中小企業会員の課題について検討と協会への提言
 - (3)必要に応じたアンケート調査の実施
4. 環境・安全委員会
 - (1)エネルギー使用量等の調査の実施
 - (2)ダイカスト工場の労働災害統計調査及び報告
 - (3)DCNet-EMSの運営
 - (4)第4回環境保全セミナーの企画・実施(東京・大阪)
 - (5)エコアクション21の推奨
 - (6)「ダイカスト産業ビジョン」(追補版)の環境保全活動へのフォローアップ
5. 日本ダイカスト会議・展示運営委員会
 - (1)2012日本ダイカスト会議・展示会の企画
 - (2)国際会議開催の検討
 - 5-1 ダイカスト会議部会
 - (1)2012ダイカスト会議の企画
 - 5-2 ダイカスト展示部会
 - (1)2012ダイカスト展示会の企画
6. 国際委員会
 - (1)GIFAへの視察団派遣
 - (2)海外からの視察団への対応
 - (3)経済のグローバル化への対応

7. 広報委員会
 - (1) 協会ホームページの運営・見直し
 - (2) 広報見学会の企画・実施
 - (3) 大学等に対する「ダイカストって何？」の贈呈
 - (4) 会報編集部会の設置

8. 研究開発委員会
 - (1) 「セミソリッドダイカストによる多品種少量生産市場の開拓」のための調査・研究
 - (2) ダイカスト技術交流会の企画・実施(1回)
 - 8-1 YDEC運営部会
 - (1) Y D E Cの企画・実施(3回)

9. 技術委員会
 - (1) 「ダイカストの標準」の増刷
 - (2) 技術アドバイザー制度の運営
 - 9-1 ダイカスト技能者ハンドブック編集部会
 - (1) 「ダイカスト技能者ハンドブック」全面改訂版の検討・発行
 - 9-2 技術研修部会
 - (1) スキルアップ研修のカリキュラムと実施方法の検討・作成
 - (2) スキルアップ研修用機材等の検討・購入

10. ダイカスト用アルミニウム合金委員会
 - (1) 「JIS合金の高品質化による用途拡大」に関する調査研究

11. ダイカスト用亜鉛合金委員会
 - (1) 環境対応型亜鉛合金ダイカストの調査研究
 - (2) 亜鉛ダイカストハンドブック増刷

12. マグネシウム合金ダイカスト委員会
 - (1) マグネシウム合金ダイカストのホットチャンバー式とコールドチャンバー式の比較検証試験
 - (2) 同 報告書作成

13. 亜鉛合金ダイカスト品質証明制度運営委員会
 - (1) 品質証明制度の運営
 - (2) 10年表彰工場の審議

14. 浦上賞選考委員会
 - (1) 浦上賞対象物件の選考

15. 菅野賞選考委員会
 - (1) 菅野賞対象技能者の選考

16. 公益法人制度改革検討委員会
 - (1) 一般社団法人への移行準備
 - (2) 調査研究作業部会の進捗状況確認

16-1 調査研究作業部会
(1)各申請書類の検討・作成

17. 競争法コンプライアンス検討委員会
(1)競争法コンプライアンス・ルールの検討及び策定

18. 協会事務局業務
(1)統括、総務、技術、表彰関係委員会の運営
(2)調査関係
①経営アンケート調査
②ダイカスト受注動向調査
③会員の生産・販売状況調査
④エネルギー使用量等調査
⑤ダイカスト作業の労働災害調査
⑥ISO9001、14001取得状況調査
⑦海外進出先調査
⑧経済産業省関係諸統計の収集
⑨ダイカストに関する内外統計の収集
⑩内外の市場調査及び文献、資料の収集
⑪技術関係の調査
(3)講演会、講習会、見学会、技術交流会及びYDECの開催
(4)亜鉛合金ダイカスト品質証明制度の施行及び分析の実施
(5)会報他刊行物の発行
(6)「協会だより」の発行
(7)協会ホームページの保守及び管理
(8)支部会員と協会役員との懇談会の開催
(9)会員との情報交換
(10)生命共済制度（全国中小企業共済財団）の実施
(11)国内、国外からの問い合わせ、依頼に対する対応及び処置
(12)関連団体との協議及び共同事業の実施
(13)新政策施行に基づく対応のための調査研究
(14)関連官庁に対する具申、答申

19. 支部活動
(1)報告会並びに打合せ会の開催
(2)支部懇談会、懇親会の開催
(3)講演会、見学会の開催
(4)講習会の開催、資格試験の実施
(5)技術その他資料の配付
(6)支部中小企業部会の運営

20. 平成23年度期首における会員数

期首入会	正会員	0社	賛助会員	1社
期首退会	正会員	0社	賛助会員	1社

平成23年度期首における会員数				
正会員	178社	賛助会員	140社	合計 318社